

⑫ 参入に繋がった事例

新規に参入した 39 事例（都道府県：21、都道府県以外の相談窓口：18）、慣行栽培から転換参入した 7 事例（都道府県：2、都道府県以外の相談窓口：5）、法人に就職した 1 事例（都道府県：1）、計 47 事例を紹介する。

新規参入に繋がった事例では、不明の 1 事例を除き、就農前に農家、法人などで研修を受けていた。都道府県などの公的機関の担当者への相談は、新・農業人フェアなど就農相談会や関係機関からの紹介が多かった。参入後も農業改良普及センターなどの公的機関との関係があり、慣行栽培農家と同様の支援を受けていると思われる事例が見られた。民間団体の担当者への相談も新・農業人フェアなどが多かった。

新規参入に繋がった 39 事例のうち、青年就農給付金などの受給者が 15 事例あり、相談担当者に給付金制度が浸透していることがうかがえる。

転換参入に繋がった事例では、公的機関への相談は特別栽培や有機 JAS 認証の相談がきっかけで、民間団体への相談は地域での学習会、即売会への参加がきっかけであった。また、有機農業への転換を進めたい市長の要請で、研修会を開き、成功事例を通して市ぐるみで取り組んでいる事例（都道府県以外の相談窓口、**転換参入事例 2**）があった。

○都道府県（青年農業者等育成センターなど公的機関を含む）

新規就農事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東北	男	42歳	無	無	不明	不明	野菜作	畑20a	畑10a

研修内容など 就農前に、就農予定市町村の有機農家からキュウリの栽培方法について指導を受けた

参入に繋がった理由 NPO 法人による住宅や農地・研修受入先の紹介があったこと

参入後の状況 有機農家から、有機 JAS 認証を取得している農地を借用し、農家の指導を受けながら栽培している。自己資金が少ないことから、パイプハウスを設置するための補助事業を要望している

新規就農事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東北	女	39歳	無	不明	無職	不明	野菜作	畑30a	畑30a

研修内容など 研修受入先は管内有機農業実践農家（個人）。野菜全般を学び、就農先市町村の新規就農者支援金を受給

相談のきっかけ 研修受入先農家から紹介

参入に繋がった理由 農地、住宅の貸借による確保。有機農業販売グループへの加入による販売先確保。就農先市町村からの資金支援

参入後の状況 栽培技術の相談

新規就農事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	34歳	有	無	パート・アルバイト	不明	野菜作	畑45a	畑45a

研修内容など 有機野菜経営先進農家。露地野菜
 相談のきっかけ 本人が研修受入先を訪問。その後、県の支援窓口を利用
 参入に繋がった理由 平成 24 年 5 月から研修を開始。青年就農給付金（準備型）の受給や就農準備について支援を行う。市町村農政課や農業委員会と打合せを行い、農地を確保
 参入後の状況 参入地域担当の普及指導員が技術面での支援を行う。周辺市町村へ農地拡大の支援を依頼

新規就農事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	30歳	有	1人	会社員	不明	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 研修受入先にて、露地野菜を学ぶ。青年就農給付金（準備型）を受給
 相談のきっかけ 研修受入先からの紹介
 参入に繋がった理由 研修受入先からのていねいな指導

新規就農事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	29歳	有	無	会社員	不明	野菜作	畑150a	畑150a

研修内容など 有機農家で 2 年間研修
 相談のきっかけ 新・農業人フェア
 参入に繋がった理由 研修受入先、農地が見つかったこと、技術的な目処が立ったことなど
 参入後の状況 県・市町村による技術的支援

新規就農事例 6

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	37歳	有	不明	パート・アルバイト	450万円	野菜作	畑200a	畑200a

研修内容など 有機農業技術は他県の研修受入先で習得していたが、本県での知人もいないため、地域を知るため有機農業に取り組んでいる農事組合法人（市の地域おこし協力隊制度を活用）での研修を進めた
 相談のきっかけ 新・農業人フェアにより県のブースを訪問。本県での有機農業での独立就農に向けたイメージが膨らみ興味を持ち来県するなかで、継続した相談を実施
 参入に繋がった理由 いきなりの参入ではなく、本県での実践研修を行うなかで、地域になじ

参入後の状況

むなどの期間を設けたため、地域、行政なども本人の力量、人柄を把握することができ、連携する中で、農地確保などの独立につながった
県、JA による就農支援資金の貸し付け、巡回指導など。市（農業委員会、振興公社）による農地斡旋など。研修受入先による販売先支援、地域との交流など

新規就農事例 7

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	女	39歳	無	無	会社員	100万円	畑作・果樹	畑30a、 樹園40a	畑30a、 樹園40a

研修内容など

有機農家で 2 年ほど研修（うち 1 年は青年就農給付金（準備型）を受給）。
農地は、研修受入先および市が斡旋

相談のきっかけ

有機農家で、有機農業について研修を開始。このときは特に農業改良普及課への相談はなし。平成 24 年度に青年就農給付金が始まり、準備型を受給することとなり、農業改良普及課も指導に当たるようになった

参入に繋がった理由

市は有機農業者の参入には積極的ではない。しかし、市は耕作放棄地が目立つようになっており、農地の荒廃を防ぐ観点から有機農業での参入を拒んではない。農地についても地主、借り主の双方が合意するのであれば斡旋。また、地元には有機農業者の会があり、会員同士の交流も参入に影響を与えている

参入後の状況

就農先は、研修受入先の隣であるため、相談をしながら農作業を進めている

新規就農事例 8

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	不明	有	不明	農業従事者	100万円	稲作・野菜作	田100a、 畑100a	田100a、 畑100a

研修内容など

研修受入先の経営を継承

相談のきっかけ

先代経営者の引退による経営継承

参入に繋がった理由

有機農業の研修を 2 年間行ったこと。研修中に顧客を獲得していたこと。
先代経営者から農地、機械、施設などを譲り受けたこと

参入後の状況

青年就農給付金（経営開始型）の受給

新規就農事例 9

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	34歳	有	無	会社員	100万円	野菜作・ 稲作	田30a、 畑30a	田30a、 畑30a

研修内容など

有機農家にて、少量多品目栽培を学ぶ。青年就農給付金（準備型）の受給
普及課を紹介されて

相談のきっかけ

参入に繋がった理由 就農希望地での研修受入先の確保

参入後の状況 研修受入先、町役場の支援

新規就農事例 10

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東海	男	28歳	有	1人	研修生	不明	野菜作・稲作・ 畑作	田40a、 畑20a	田40a、 畑20a

研修内容など 他地域の有機農家のもとで、野菜栽培を中心に研修

相談のきっかけ 他組織からの紹介

参入に繋がった理由 就農前に、複数回普及課へ相談に来た。農地の利用権設定が順調に進んだため

新規就農事例 11

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東海	男	39歳	無	不明	パート・アル バイト	100万円	野菜作	畑25a	畑25a

研修内容など 青年就農給付金（準備型）受給可能な研修受入先で 2 年間研修した後に就農。露地野菜を少量多品目栽培。

相談のきっかけ 農起業支援センターを知り、就農相談を希望して訪問

参入に繋がった理由 研修受入先で農業に真摯に取り組む姿が評価され、条件の良い農地を借り受けることができた。住宅と就農地とが離れているが本人の熱意が認められ、就農予定地である市からの積極的な支援を受けることができた

参入後の状況 青年就農給付金（経営開始型）を受給。人付き合いを大切にする温かい人柄のため、近隣農家から手厚い支援を受けている。人・農地プランの検討会では、彼を擁護する発言をするために出席する農家がいた。また、優良な中古農業機械の無償提供も受けた

新規就農事例 12

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東海	男	36歳	無	不明	パート・アル バイト	200万円	野菜作	畑27a	畑27a

研修内容など 有機農家でハウレンソウ、タマネギ、ニンジンなどを研修。青年就農給付金（準備型）を受給

相談のきっかけ 有機栽培スクール（管内の有機農業者が主催）に参加し興味をもったことがきっかけ

参入に繋がった理由 青年就農給付金制度を活用して研修を受けることができたこと。農地の確保ができたこと

参入後の状況 研修受入先には今でも相談できる関係にある。普及指導員も定期的に状況を確認している

新規就農事例 13

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
近畿	女	62歳	有	あり	不明	なし	野菜作	田3a、 畑4a	田3a、 畑4a

研修内容など 農業法人にて研修。公的支援は現時点ではない

参入に繋がった理由 研修受入先の確保

参入後の状況 就農相談継続中（資金借入れに向けて相談）

新規就農事例 14

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
中国	男	33歳	有	無	会社員	50万円	野菜作	畑30a	畑30a

研修内容など 有機農業を実施している法人で研修。品目は葉菜類。公的支援あり

相談のきっかけ 相談会

参入に繋がった理由 地域の研修制度を利用

参入後の状況 技術、農地は、研修受入先が、農家との付き合いは集落代表者が世話

新規就農事例 15

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
中国	男	49歳	有	不明	会社員	400万円	野菜作	畑40a	畑40a

研修内容など 県の制度を活用した先進農家での研修

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 研修

参入後の状況 技術など

新規就農事例 16

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
中国	男	31歳	有	3人	公務員	800万円	野菜作	田30a	田30a

研修内容など 県内の有機農家や地元農家で、ショウガ栽培を1年間実施

相談のきっかけ 就農意向

参入に繋がった理由 本人の強い意志と資金があり、販売ルートも開拓も積極的に実施されたこと

新規就農事例 17

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
四国	男	31歳	有	不明	団体職員	不明	野菜作	田40a	田40a

研修内容など 関東地区の有機農業を進める NPO 法人で研修

相談のきっかけ 普及センター、市への就農相談

参入に繋がった理由 県農地機構を通じ、農地集積が行えたこと。農地近くの住宅が確保でき

たこと

参入後の状況 関係事業などの紹介。訪問などによる相談対応など

新規就農事例 18

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
四国	男	28歳	有	1人	パート・アル バイト	100万円	野菜作	田11a	不明

研修内容など 指導農業士のもとで研修。施設キュウリを学ぶ。青年就農給付金（準備型、経営開始型）を受給

相談のきっかけ JA に就農相談に来たこと

参入に繋がった理由 本人の就農意識の高さ。農業関係機関が連携し、研修受入農家・空きハウスの紹介、資金調達への支援に努めたこと

参入後の状況 交流の場づくりとして、就農希望者（研修生）、新規就農者、指導農業士で年に1～2回意見交換会を実施。新規就農者対象の勉強会。栽培、経営指導

新規就農事例 19

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
四国	男	35歳	有	不明	パート・アル バイト	不明	野菜作・ 畑作	不明	不明

研修内容など 四国地区内の研修受入先で研修

相談のきっかけ 青年就農給付金（準備型）の受給

参入に繋がった理由 研修受入先での技術習得

参入後の状況 青年就農給付金（経営開始型）の斡旋

新規就農事例 20

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州・沖縄	男	39歳	有	不明	農業従事者	400万円	野菜作	畑23a	不明

研修内容など 研修受入先で基本的な野菜栽培技術を習得

相談のきっかけ 研修受入先の紹介で普及センターに相談に来た

参入に繋がった理由 体調不良のため、農薬使用を抑えた農業を実践したい希望があった

参入後の状況 農薬使用が少ない作物（カンショ茎葉）で地域生産者が組織的に活動している組織を紹介。同様に農薬使用が少ない作物（スイゼンジナなど）栽培事例の紹介。適宜、栽培指導

新規就農事例 21

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州・沖縄	男	不明	有	2人	会社員	60万円	畑作	田50a	田50a

研修内容など 県内の研修受入先にて研修。研修内容は、有機農業一般、有機栽培技術全般。

相談のきっかけ 地元農家、県内有機農業推進団体への相談

参入に繋がった理由 研修受入先や地元有機農家での研修で、技術などの習得ができた。青年就農給付金（準備型）や市就農奨励金などの支援策があった。実家には小規模ながら農地などがあった

参入後の状況 市役所などの公的機関による農地などの斡旋。地域の有機農家による相談支援。部会組織活動への誘導

転換参入事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	不明	有	不明	農業従事者	不明	稲作	田300a	田50a

研修内容など JAS 法に関する講習会

相談のきっかけ 特別栽培からの移行

参入に繋がった理由 特別栽培を有機農業と同様の方法で行っており、技術的基盤があったため

参入後の状況 登録認定機関としての認定と情報提供

転換参入事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	女	不明	不明	不明	不明	不明	野菜作	畑30a	畑10a

研修内容など 県有機農産物等生産行程管理者等講習会にて有機 JAS 認定について学ぶ。独自で技術を習得

相談のきっかけ 有機 JAS 認定取得希望

農業法人への就職事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	女	39歳	有	1人	会社員	不明	野菜作	—	—

研修内容など 雇用を目的とした長期体験を同経営体で実施（施設軟弱野菜）

相談のきっかけ 都市部から家族ぐるみで I ターンし会社に勤務。半年で農業への関心から公的機関を通じた依頼で個別相談

参入に繋がった理由 I ターン地域内で通勤可能であったこと。有機農業であったこと

参入後の状況 近況確認

○都道府県以外の相談窓口

新規就農事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
北海道	男	57歳	有	2人	自営業	不明	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 近隣の有機農家で、ゴボウの栽培を研修
 相談のきっかけ 自ら有機農業を实践してみたいとの相談を普及指導員が受けた
 参入に繋がった理由 有機農家と繋がったから
 参入後の状況 有機栽培の実際に関わる技術的支援など

新規就農事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	41歳	有	1人	会社員	300万円	畑作・畜産・稲作	田10a、畑50a	田10a、畑50a

研修内容など 地域の特別栽培農家での研修（市の新規就農者研修支援事業の補助を受けて）
 相談のきっかけ 新・農業人フェア、地域のセミナーなど。市や県の紹介、HP から
 参入に繋がった理由 受入組織の取り組み活動内容。有機農業の現状。遊休農地情報
 参入後の状況 継続して支援。技術的な情報交換や現地指導会を行っている。また、農地の賃借の情報を提供している

新規就農事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	40歳	無	不明	会社員	200万円	野菜作・その他	畑80a	畑40a

研修内容など 当 NPO 法人で研修。野菜多品目。地域の切り花農家を紹介し、週 3 回の派遣研修。青年就農給付金（準備型）を受給
 相談のきっかけ セミナー
 参入に繋がった理由 自身の意欲がベースとなり、粘り強く研修。NPO 法人として行政に橋渡しをし、普及センター、市農政課の支援を受けて、農地の確保、資金補助、もろもろの助言などを得た
 参入後の状況 NPO 法人として継続的に技術アドバイスなど。地域農家、行政などの支援により中古農機、設備などの便宜を図ってもらっている

新規就農事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	40歳	有	無	会社員	2,000万円	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 県内有機農家で野菜を学ぶ。公的支援なし
 相談のきっかけ 知人の紹介
 参入に繋がった理由 研修、農地

新規就農事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
関東	男	43歳	有	1人	会社員	300万円	野菜作	畑90a	畑90a

研修内容など 研修受入先で、トマト、キュウリ、コマツナ、レタス、インゲンなどを学ぶ。青年就農給付金（準備型、経営開始型）を受給

参入に繋がった理由 販売先は地元有機農業推進団体

新規就農事例 6

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
関東	男	38歳	有	2人	会社員	1,500万円	野菜作	畑140a	畑140a

研修内容など 地元研修受入先にて研修

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 研修、技術、販売先

参入後の状況 農地、資金、技術

新規就農事例 7

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東海	男	34歳	有	1人	会社員	不明	野菜作・稲作・ 畑作	田30a、 畑30a	田30a、 畑30a

研修内容など 会員農家の斡旋で農地、住宅を借りる。青年就農給付金（準備型）を得て、会員農家で研修中

相談のきっかけ 有機農業就農相談コーナーにて相談

参入に繋がった理由 相談先と有機農業推進団体が連携して会員農家に農地と住宅の情報を求めてきた

参入後の状況 消防団など地区の活動へ参加すること進めている

新規就農事例 8

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東海	女	28歳	無	不明	農業研修生	不明	野菜作	田50a、 畑50a	畑50a

研修内容など 農業法人、野菜

相談のきっかけ 相談会

参入に繋がった理由 新規ではないが、農業青年を紹介し、結婚することにより就農

新規就農事例 9

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
東海	男	38歳	有	不明	会社員	100万円	野菜作・畑作	畑30a	不明

研修内容など 研修受入先

相談のきっかけ 有機農業新規就農相談コーナーにて
 参入に繋がった理由 慣行農家で研修経験があり、農業についても良く勉強していて知識が豊富だった。農地確保についても自分で積極的に動いていた。研修受入先周辺に就農することを決め、小さな農地を借り、そこを足がかりに広げていった。就農の際、制度資金を借りる予定だった。しかし、農業委員に有機農業を認めない人がいて、条件は満たしていたが借りることができなかった。住宅は離れた場所にあり、1時間かけて通っているが、いま圃場近くを探している。就農1年目だが、栽培目標をほぼ達成した
 参入後の状況 近辺の人に大変にお世話になっている

新規就農事例 10

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
北陸	男	30歳	無	不明	会社員	不明	稲作	不明	不明

研修内容など 有機農家に実習
 参入に繋がった理由 「農業に従事したい」という強い意志

新規就農事例 11

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	30歳	有	1人	会社員	不明	野菜作・稲作	田10a、畑20a	田10a、畑20a

研修内容など 有機農業研修先にて、野菜および稲作を学ぶ。公的支援は無し
 相談のきっかけ ホームページ、知人による紹介
 参入に繋がった理由 研修
 参入後の状況 種や苗の提供

新規就農事例 12

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	37歳	無	不明	自営業	50万円	畑作	畑50a	畑50a

研修内容など 当研修受入先にて研修
 相談のきっかけ 当研修受入先に相談
 参入に繋がった理由 研修、農地の紹介、公的資金受給へのアドバイス

新規就農事例 13

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	34歳	無	不明	会社員	50万円	野菜作・畑作	畑20a	畑20a

研修内容など 先進農家で他品目野菜栽培を学ぶ。公的支援は受けていない
 相談のきっかけ 個人的（研修受入先として）
 参入に繋がった理由 研修受入先での地域住民とのコミュニケーションが引き金となった
 参入後の状況 地域の理解で古民家、中古農機具、農地の斡旋を受ける。農産物販売の

世話

新規就農事例 14

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
中国	男	30歳	有	2人	会社員	不明	野菜作・果樹	不明	不明

研修内容など 今後 1 年間有機農家で研修。青年就農給付金（準備型）の申請予定。

新規就農事例 15

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
四国	男	22歳	無	不明	パート・アル バイト	無	野菜作・ 畑作	畑50a	畑50a

研修内容など 当研修受入先で研修

相談のきっかけ ウェブサイト

参入に繋がった理由 独立就農の意思が強い

新規就農事例 16

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州・沖縄	男	35歳	有	無	会社員	100万円	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 地元研修受入先および有機農家で野菜全般を学ぶ

相談のきっかけ 新規就農相談会

参入に繋がった理由 親譲りの農地があった

新規就農事例 17

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州・沖縄	男	28歳	有	2人	会社員	100万 円	稲作・畑作・ 野菜作	田70a、 畑60a	田70a、 畑60a

参入後の状況 近くの有機農家に繋がっている。農業機械なども中古品を紹介

新規就農事例 18

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州・沖縄	女	25歳	無	不明	無職	不明	不明	不明	不明

研修内容など 地元有機農家にて、平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月まで、青年就農給付金（準備型）を受給しながら研修中

相談のきっかけ 県就農相談会にて

参入に繋がった理由 もともと父親が兼業農家であり、自分も農業で生計を立てたいと考えていた。自宅から通える距離で有機農業を勉強をできる研修受入先をさがしていた

参入後の状況 当研修受入先の研修生として受入農家の指導のもと研修中

転換参入事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	35歳	有	2人	自営業	500万円	稲作・野菜作	田300a、畑100a	田20a

研修内容など 部会内部学習会
 相談のきっかけ お誘い
 参入に繋がった理由 お誘い
 参入後の状況 技術指導。除草機のテスト運転

転換参入事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	—	—	—	—	—	稲作	—	—

研修内容など 市より支援を受け、営農組合員全員が有機稲作への転換を開始
 相談のきっかけ 地域づくりとして市の稲作をコウノトリやトキと共生する有機農業に変えたいという市長の強い要請で、技術指導を行う
 参入に繋がった理由 市長・市職員・営農集団が食の安全や環境の保全のために地域の農業を有機稲作へ転換し、未来を担う子供たちに誇れる地域にしたいという強い意志があったこと。有機稲作の研修会を開催し、全員が抑草に成功したこと
 参入後の状況 市役所担当者、普及指導員や NPO 法人などが、実践農場の巡回指導を行う。販路についても幼稚園・小学校・中学校の学校給食をすべて有機米にすることを考えており、当面は地産地消で循環する準備が整っている

転換参入事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
北陸	男	32歳	有	2人	農業従事者	不明	稲作・野菜作	田4000a、畑240a	畑60a

研修内容など レンコン
 相談のきっかけ 周辺農家
 参入に繋がった理由 本人の熱意
 参入後の状況 有機 JAS 認証に対するアドバイス

転換参入事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	女	40歳	有	3人	農業従事者	不明	稲作・野菜作	田300a、畑5a	田100a、畑5a

研修内容など 当研修受入先の定期有機稲作技術講習会。水稻・小松菜・ハウレン草を学ぶ。公的支援は無し

相談のきっかけ 定期的に行っている有機稲作技術講習会に参加。地域に有機稲作に取り組む生産農家が増えてきたこと

参入に繋がった理由 地域に有機稲作に取り組む農家が増えてきたことで、どのようにやればいいのかを、実施農家間で確認できるようになってきたこと。地域の有機稲作技術が確定し、栽培暦、肥料などが定まってきたこと。地元 JA が水稻におけるネオニコチノイド系農薬の大幅削減を行ったこと

参入後の状況 お米の出荷グループを紹介

転換参入事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州・沖縄	男	65歳	有	不明	公務員	不明	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 有機農業推進団体の普及員に繋がり、民間の有機農業認定を受けた。研修会などへ参加

相談のきっかけ 有機農家を中心となって行っている販売会に参加することがきっかけ

参入に繋がった理由 有機農家らと販売会を行うなかで、仲間意識が強くなり、参入へと繋がった

参入後の状況 引き続き有機農業推進団体の普及員と繋がりながら、有機農家が行う野菜市へ参加